

ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと

2025 年 3 月 22 日

まとめ：気候市民会議まつもと実行委員会

1. はじめに

気候市民会議(Climate Assembly)とは、社会の縮図となるように無作為に選ばれた数十人～百数十人の参加者が、バランスのとれた情報提供を受け、参加者主体でじっくりと議論（熟議）し、その結果を提言などの形でとりまとめ、脱炭素社会の実現に向けた効果的な政策・対策を生み出すために活用する取り組みです。

長野県松本市では、ゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組みをさらに進展させるため、市民自らが行動すべき事柄を検討し、アクションプランとしてまとめ、松本市民および松本市へ提言することを目的として、2024 年 9 月から 2025 年 1 月にかけて 6 回の会議を開催してきました。

ここに 20 テーマ、50 の市民アクションで構成する「ゼロカーボン市民アクションプラン in まつもと」をまとめることができました。熱心にご参加くださった参加者の皆さん、情報提供をくださった専門家や実践者の皆さんに、厚く御礼申し上げます。

2. 気候市民会議まつもと：情報提供を通じて学んだ 4 つのポイント

ポイント① 気候危機は「遠いどこか」の問題じゃない

⇒人間活動による地球温暖化が進行している。これに対して温室効果ガス排出削減の取り組みは不十分で、社会のしくみを変えていく必要がある。実際に様々な環境の変化が起きている。松本では過去 100 年間に猛暑日は年間 20 日増え、冬日は 53 日減少し、農業などに影響が生じている。

ポイント② 世界から松本市までがゼロカーボンをめざしている

⇒2015 年のパリ協定によって、平均気温の上昇を産業革命前に比べて 2℃より低く保ち、1.5℃に抑えることが世界の目標になっている。1.5℃目標を達成するためには、世界で 2050 年に温室効果ガスの排出量を森林吸収量と差し引いて実質的にゼロ（ゼロカーボン）とする必要がある。松本市も 2050 年にゼロカーボンを実現するという目標と計画を持ち、取り組みを進めている。

ポイント③ 対策には地球にやさしいだけでなく、お財布にもやさしいものがある

⇒気候変動対策には緩和と適応があり、緩和策には化石燃料から再生可能エネルギーへの転換、建物や移動に伴うエネルギーの削減など具体的な手段がすでに数多く存在する。これらの手段には、従来の方法と比べて安価で積極的に選択できるものがある。対策は我慢をすることだけではない。

ポイント④ もう動いている人びとがたくさんいる

⇒市民や行政機関、事業者などさまざまな人びとが具体的なアクションを起こしている。気候変動はあまりに大きな課題だけど、他人事ではなく自分事として動きはじめれば、一歩目を探していた周囲の人びとも動き出す。市民にしかできないミッションはたくさんある。

3. 気候市民会議まつもと：開催の経過

	日時	実施内容
第1回	9月7日(土) 13:00～17:00 松本市博物館	テーマ：気候変動の現状について 専門家による講義と質疑応答： 気候変動問題の基礎（江守正多さん） 長野県における気候変動と影響（浜田崇さん） グループ討議：学んだこと、疑問や心配なことの共有
第2回	9月28日(土) 13:00～17:00 松本市役所	テーマ：気候変動対策について 専門家による講義と質疑応答： 長野県の取組み（平林高広さん） 松本市の取組み（鈴木博史さん） 市民アンケート調査結果（信州大学人文学部社会学研究室） グループ討議：政策について疑問点や気候変動対策を進めるうえで 大切だと思うことの共有
第3回	10月26日(土) 13:00～17:00 松本市役所	テーマ：気候変動対策の検討① 専門家による講義と質疑応答： 地域活動の紹介（平島安人さん） 太陽光発電・電気自動車について（櫻井啓一郎さん） グループ討議：テーマ別の取組みのグループの検討
第4回	11月16日(土) 13:00～17:00 松本市役所	テーマ：気候変動対策の検討② 専門家による講義と質疑応答： 家庭の気候変動対策（高木直樹さん） カーボンフットプリントの見える化 グループ討議：市民アクションプランのアイディア・リストづくり
第5回	12月14日(土) 13:00～17:00 松本市役所	テーマ：市民アクションプランの検討① 専門家による講義と質疑応答： 他地域の気候市民会議の成果例（石川智子さん） 松本市の交通まちづくり政策とゼロカーボンの関係 (松本市交通部) 市民にしかできないミッションとは（藤川まゆみさん） グループ討議：ポスターセッション、 アクションプラン案への意見出し
第6回	1月25日(土) 13:00～17:00 松本市役所	テーマ：市民アクションプランの検討② 専門家による講義と質疑応答： 他地域の気候市民会議のその後について（三上直之さん） グループ討議：素案をもとにアクションプラン最終案の完成

4. 気候変動対策を進める上で大切だと考える3つのこと

第2回気候市民会議まつもとの対話を通じて参加者が挙げた「気候変動対策を進める上で大切だと考えること」を集約しました。この3項目を前提に、2050年ゼロカーボンを目指す上で、当面の大きなステップとなる2030～2035年を目標に、市民アクションプランをまとめました。

1. 誰も取り残されず、市民みんなでゼロカーボン社会を実現する
2. 学びや対話を通じて、共感の環（わ）を広げる
3. とるべき対策を知り、できることを選択し、行動に移す

5. アクションプランの構成

アクションプランは、第3回会議で決定した4つのテーマ別取り組みグループの検討経過をふまえて、以下の5つのテーマに20の項目が配置されています。

テーマ	対応するアクションプランの項目番号
(スタート地点)	アクションプラン No.1
再生可能エネルギー	アクションプラン No.2～6
住まい	アクションプラン No.7～11
交通・EV 普及	アクションプラン No.12～15
気候変動適応・ライフスタイル	アクションプラン No.16～20

それぞれのアクションプランには、以下の事項が記載されています。

●市民アクション

項目ごとに市民自らが行動すべき具体的なアクションを示しました。

●必要な社会的しくみ

市民アクションを可能とするために必要な社会的しくみを示しました。

これらは必要な政策的対応や施策の拡充を含んでいます。

●関連する市や県の施策

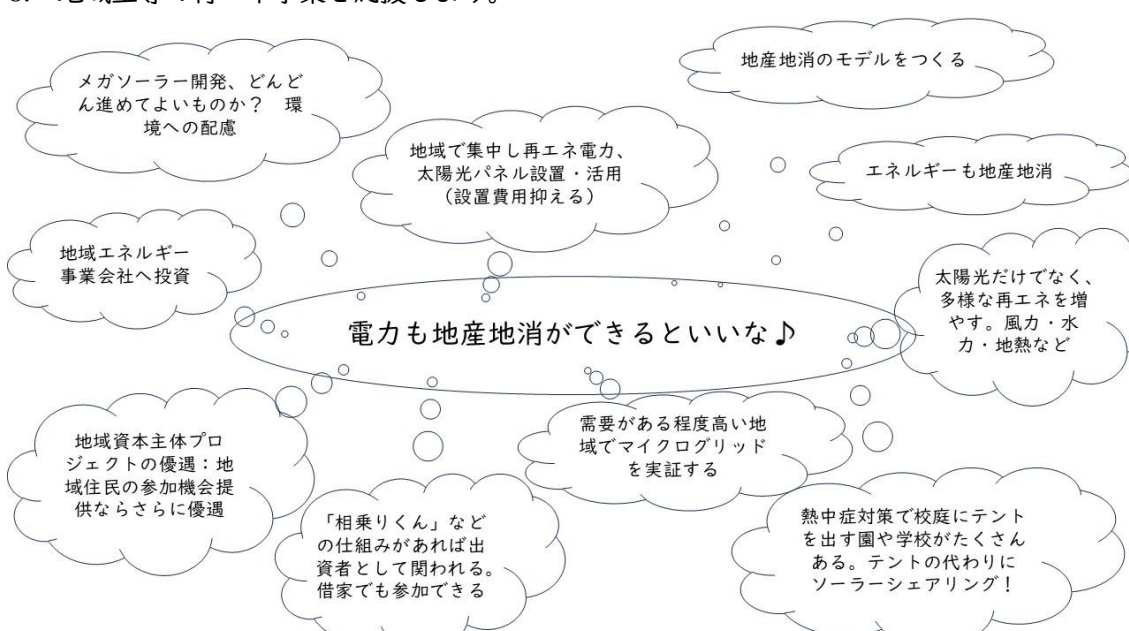
アクションプランに関連する松本市や長野県の施策を示しました。

6. アクションプラン

アクションプラン No.1	気候変動対策の入口へ一歩踏み出そう！
●概要 気候市民会議まつもとを通じて参加者に広く共有されたのは、気候変動とその対策について具体的に対話や相談をする機会の重要性でした。簡単な質問に答えるだけで自身の CO2 排出量を計算できるアプリも既に開発されています。こうしたアプリや対策について相談できる場を活用して、気候変動対策の入口へと一歩踏み出してみませんか。	
●市民アクション 1-1. 気候変動を身近に感じる機会に参加しよう。 1-2. アプリなどを使って、自身や家庭の CO2 排出量を「見える化」してみよう。 1-3. 市民が気候変動対策を進めるための相談窓口を活用するなどして、自分ができる気候変動対策を把握しよう。	
何をすればよいのか一般的には分からない。やるとよいことを推奨する。その意義の発信。 太陽光の発電量、導入コスト、EVの導入コスト、減らせるガソリン代など自宅で実施した場合のシミュレーションができるようにする 行政が「相談窓口」(気候変動対策全般)1本だけ設置 気候変動対策の入口へ一歩踏み出そう！ 他の地域のデータと比較(一人当たりのCO2排出量なら東京の方が少ない?) 「知る」→次の情報提供者に。(サポート:Y-CAMみたいな) 目のつくところにCO2削減の効果がわかる情報、ポスターなど表示してもらいたい。具体的に〇〇削減できた！とやる気につながると思います。 折りたたみの太陽光パネルと蓄電池の設置等で少しでも再生可能エネルギーを体験してみる (参加者から出た主なアイデア)	
●必要な社会的しくみ ・ 市民が気候変動対策を進めるための相談窓口（ワンストップサービス）を、官民共同で設置する。	
●関連する市、県の施策 (市) 気候市民会議まつもと (県) 長野県ゼロカーボン社会共創プラットフォーム「くらしふと信州」	
※参考情報 ・ 国立環境研究所「自分ごとプラネット」 https://www.jibungoto-planet.jp/	

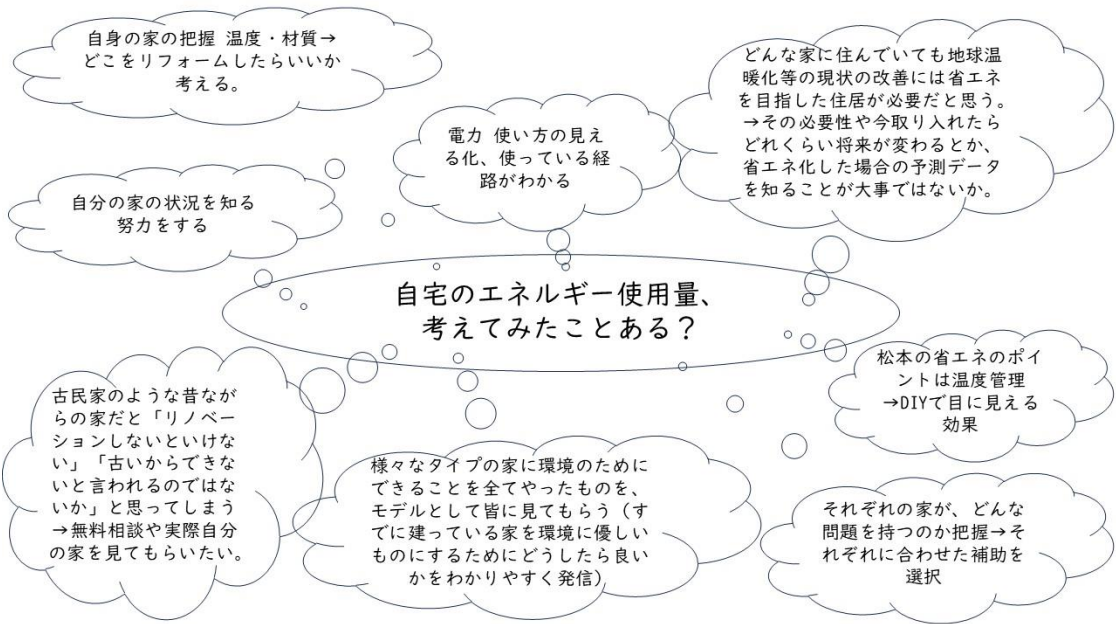
アクションプラン No.2	自宅の電力を太陽光発電で自給できるって、すごい！
●概要 太陽光発電パネルは世界的に普及が進んで価格が下がり、電気を買うより自宅で発電するほうが安い時代が到来しています。停電時には自立運転が可能なシステムがあり、災害時にも安心です。長野県は全国的に見て太陽光発電の条件に恵まれ、県は2030年までにおよそ3軒に1軒の住宅に太陽光発電が設置されている状態をめざしています。	
●市民アクション 2-1. 信州屋根ソーラーポテンシャルマップで自宅の発電可能性を確認しよう。 2-2. 自宅の屋根等に太陽光発電を検討・導入しよう。 2-3. ライフスタイルに合わせて電気自動車（EV）や蓄電池を活用しよう。 (参加者から出た主なアイデア)	
●必要な社会的しくみ ・ 太陽光発電導入の検討手順と支援制度をわかりやすく示す。 ・ 太陽光発電を安心して導入できるよう事業者の認定制度や相談窓口を充実させる。 ・ 太陽光発電やVtoH・蓄電池など電力自給につながる装置の支援制度を充実させる。 ※VtoH：EVの蓄電池に蓄えた電気を住宅で利用するシステム。Vehicle to Homeの略です。	
●関連する市、県の施策 (市) 松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金（松本市住まいのゼロカーボン推進補助金）／松本「0円ソーラー」登録プラン (県) 既存住宅エネルギー自立化補助金／信州屋根ソーラー普及事業 「つなぐ 信州屋根ソーラー」 https://www.yanesolar.pref.nagano.lg.jp/ 	

アクションプラン No.3	再エネ比率の高い電力を選べること、知ってる？
●概要 自宅には太陽光発電の導入が難しい人にも、できることがあります。現在は電力自由化が進み、電力会社が電力のメニューを多様化させているため、再生可能エネルギー比率の高い電力を選択することが可能です。私たち消費者が再エネ電力を選ぶことで需要が示され、社会全体で再エネを増やす流れにつながっていくことが期待できます。	
●市民アクション 3-1. 発電メニューで電力会社を比べて選べることを知ろう。 3-2. 再エネ比率の高い電力を選択しよう。 (参加者から出た主なアイディア)	
●必要な社会的しくみ ・松本市と松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社が締結した「再生可能エネルギーの地産地消に関する連携協定」に基づく取り組みを充実・加速させる。	
●関連する市、県の施策	

アクションプラン No.4	電力も地産地消ができるといいな♪
●概要 松本市内の年間電力消費量は約 18 億キロワット時（環境省の推計値）で、単純計算で 1 年に 500～600 億円の電気料金が市内で支払われています。この電力も、農産物と同じように地産地消することで地域内の経済循環が生まれます。市内では 2024 年 8 月に松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社が設立され、再生可能エネルギーによる電力の地産地消をめざしています。	
●市民アクション 4-1. 地域に必要な再エネの量を知り、地域の特性に合った導入を後押ししよう。 4-2. 災害時の自立など地域の課題解決につながる取り組みを支持し、市民としての関わり方を見つけよう。 4-3. 地域主導の再エネ事業を応援しよう。  （参加者から出た主なアイデア）	
●必要な社会的しくみ ・ 地域全体のゼロカーボン実現に必要な再エネ導入のロードマップを示す。 ・ 地域マイクログリッドなど災害時の自立につながる仕組み構築を推進する。 ・ 地域コミュニティにメリットの大きな再エネ事業への支援制度を充実させる。	
●関連する市、県の施策 （市）脱炭素先行地域（乗鞍高原地域）／松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社／まつもとゼロカーボン実現計画 （県）再エネ設備設置推進の検討（長野県地球温暖化対策条例の改正検討）	

アクションプラン No.5	熱も再エネで賄えたら、心も身体もあたたまる♪
●概要 家庭におけるエネルギー消費を用途別に見ると、6割以上が給湯や暖房、台所などの熱利用です。この多くがガスや灯油などの化石燃料で賄われています。これを太陽熱温水器や「おひさまエコキュート」などで賄えばCO₂排出量を効果的に減らすことができます。また木質バイオマス利用は里山保全にも有効で、松本らしい暮らしを実感できるという声もあります。	
●市民アクション 5-1. 太陽熱温水器やおひさまエコキュートを検討・導入しよう。 5-2. 薪やペレットなど木質バイオマスストーブを検討・導入しよう。 (参加者から出た主なアイディア)	
●必要な社会的しくみ ・熱エネルギーの再エネ化の検討手順と支援制度をわかりやすく示す。 ・公共施設に薪・ペレットストーブを率先導入して再エネ熱利用を身近なものとする。	
●関連する市、県の施策 (市) 松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金(松本市住まいのゼロカーボン推進補助金)／松本市薪ストーブ等購入事業補助金／松本市ペレットストーブ等購入事業補助金／竜島温泉せらぎの湯へのチップボイラー導入事例	

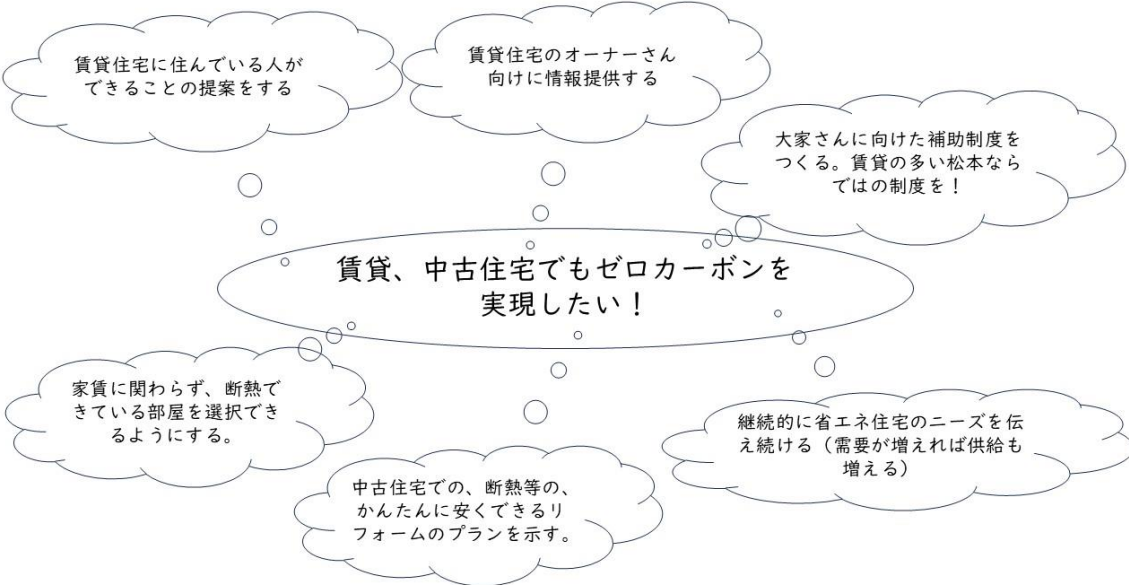
アクションプラン No.6	再エネで暮らしを豊かにする方法、知っていませんか？
●概要 気候市民会議まつもとを通じて、再エネにはゼロカーボンというメリットだけでなく経済的メリットもあることを知ることができました。ですが、まだまだ再エネの価値は十分に知られておらず、しくみも複雑でわかりにくいかもしれません。再エネを身近なものにするために、まず知る機会を増やして試みるのが大切です。	
●市民アクション 6-1. 再エネに関して総合的な情報を扱うウェブサイトや広報紙にアクセスしよう。 6-2. 住まい方やライフスタイルに合わせた再エネの活用方法や経済的メリットがあることを知ろう。 再エネ電力会社&太陽光パネル+蓄電池の有効活用（松本におけるベストミックス） 得た正しい知識で再エネのイメージを更新 正しい情報を知ることが大事なので広めていきたい（知らない不安という声が多い） ソーラーパネルは95%リサイクル出来るのを知らなかった。もっと知られるべき 各家庭の有効な再エネ対応を知る手段が何なのか？ 持家だと何が出来るか借家だと何は出来るかアクションの選択肢を提示 壁面やフェンス、駐車場屋根への太陽電池設置 松本市の自分と同じ立場（市民）の体験談を、具体的な“数値”によって知る仕組み 補助金を出した先での排出量削減等のデータを市に還元してもらえる仕組みをつくる 市の広報など毎月同じページに太陽光のことを載せる。 （参加者から出た主なアイディア）	
●必要な社会的しくみ ・ 住まい方やライフスタイルに合わせた再エネ導入ガイドブックやウェブサイトをつくる。 ・ 補助金の支援対象となった市民からデータの提供を受けて情報発信の素材とする。	
●関連する市、県の施策 （県）既存住宅エネルギー自立化補助金	

アクションプラン No.7	自宅のエネルギー使用量、考えてみたことある？
●概要 松本市では家庭部門の温室効果ガス排出量が運輸部門に次いで2番目に多く、住宅のエネルギー効率化がゼロカーボンの実現に欠かせません。第4回会議の情報提供で住環境の専門家である高木直樹さんから「まずは現状把握」と具体的な提言をいただきました。自宅のエネルギー使用量を把握することから、アクションを始めてみませんか。	
●市民アクション 7-1. 住宅の室温や電気・燃料の使用量を把握し、できることを家庭や所属するコミュニティで共有しよう。 7-2. 住宅のエネルギー効率化（省エネ）について専門家に相談してみよう。  （関連して参加者から出た主なアイディア）	
●市民アクションを支える社会的しくみ ・住宅の電力量計測機器を貸し出すしくみを設ける ・住宅のエネルギー効率化（省エネ）を進めるための相談窓口を官民共同で設置する。 ・住まい方に合わせた住宅のゼロカーボン実現ガイドブックやウェブサイトをつくる。	
●関連する市、県の施策 （県）家庭の省エネサポーター制度 https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shoene/katei/index.html 	

アクションプラン No.8	断熱が効果的って、もっと広げたい♪
●概要 冬、暖房した熱の58%が窓を通して外へ逃げていきます。これを高断熱の住宅にするとエアコンの電力消費を80%以上削減できるそうです。せっかく使ったエネルギーを逃がしてしまっは、元も子もありません。県内では学校の教室をはじめとして「断熱ワークショップ」が行われている事例もたくさんあります。断熱を暮らしの知恵や文化として広げましょう。	
●市民アクション 8-1. 断熱に関する情報・メリット・方法を共有し、実践する仲間を増やそう。 8-2. 断熱ワークショップを地元企業と連携したりして企画・実行しよう。 (参加者から出た主なアイデア)	
●必要な社会的しくみ ・身近な場所で断熱ワークショップを実施し、その効果を発信する。 ・空き家を使うなど他の政策課題と断熱を重ねて展開する。	
●関連する市、県の施策 (県) 長野県住生活基本計画	
※参考情報 ・NPO 法人上田市民エネルギー「みんなの教室断熱ワークショップマニュアル」 https://eneshift.org/2024/06/14/1299/	

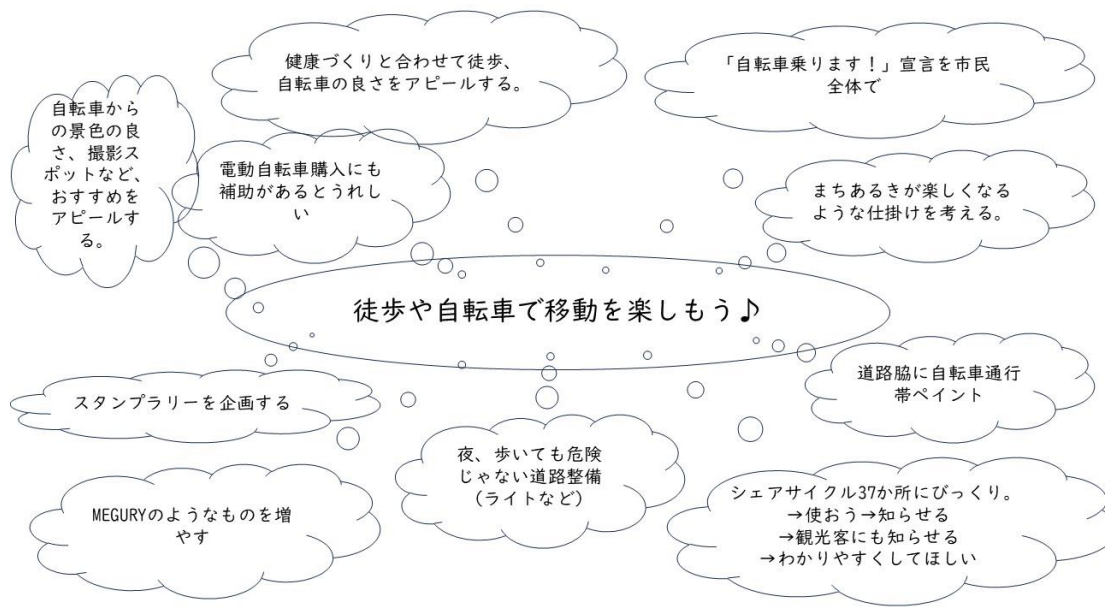
アクションプラン No.9	ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！ ①ZEH という選択
●概要 断熱、省エネ性能を高め、必要なエネルギーを再エネで賄う「ZEH」(net-Zero Energy House、ゼッチ)という選択肢が徐々に広がっています。長野県は新築時に高断熱住宅(信州健康ゼロエネ住宅)を義務化する準備をしています。光熱費が抑えられ、長く住めば住むほどお得になるため、既存住宅のZEH化リフォームも効果がとても大きいです。	
●市民アクション 9-1. 新築時にはゼロエネ住宅(ZEH)を選択しよう。 9-2. リフォーム時にもゼロエネ住宅を検討・選択しよう。 (参加者から出た主なアイデア)	
●必要な社会的しくみ ・松本におけるZEHのモデル事例を各地に設けて発信する。 ・市が国や県と連携して検討手順と支援制度をわかりやすく示す。	
●関連する市、県の施策 (県) 長野県住生活基本計画／信州健康ゼロエネ住宅／新築住宅の省エネ適合義務基準強化の検討(長野県地球温暖化対策条例の改正検討) (市) 松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金(松本市住まいのゼロカーボン推進補助金)	
※参考情報 ・信州健康ゼロエネ住宅 https://www.shinshu0ene.jp/ 	

アクションプラン No.10	ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！ ②既存住宅の断熱化
●概要 ZEH までの大幅なリフォームは難しいというお宅でも、窓などの部分的な断熱改修で大きな効果が見込める場合があります。国土交通省の調査では、断熱改修（省エネリフォーム）を実施した居住者には、室温が上がることで高血圧の緩和など健康増進の効果も確認されています。まず断熱改修の可能性を調べることから始めてみませんか。DIY の趣味と合わせてもよいかもしれません。	
●市民アクション 10-1. 住宅の断熱改修の可能性を調べよう。 10-2. 開口部（たとえば窓）などを重点に工夫して断熱しよう。 （関連して参加者から出た主なアイデア）	
●必要な社会的しくみ ・地元工務店などと連携して断熱改修について相談できる支援策を設ける。 ・既存住宅の断熱改修に関する支援制度をわかりやすく示す。 ・既存住宅の断熱化のモデル的存在となる住宅を行政・事業者・市民が協働してつくる。	
●関連する市、県の施策 （県）長野県住生活基本計画／信州健康ゼロエネ住宅／新築住宅の省エネ適合義務基準強化の検討（長野県地球温暖化対策条例の改正検討） （市）松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金（松本市住まいのゼロカーボン推進補助金）	

アクションプラン No.11	賃貸、中古住宅でもゼロカーボンを実現したい！
●概要 持ち家と比べて賃貸住宅は、また新築と比べて中古住宅は、断熱性能や再エネ設備の導入が進んでいません。松本市は借家率が43%（松本市住宅マスタープラン）と、持ち家が多い長野県内では比較的賃貸住宅が多く、中古住宅数も増加傾向です。誰も取り残されないためには、賃貸、中古住宅でも合理的に気候変動対策がとれるよう、しくみを整える必要があります。	
●市民アクション 11-1. 賃貸・中古住宅を検討する際に、断熱性能の高い住宅を選択しよう。 11-2. 賃貸・中古住宅を検討する際に、不動産事業者に物件の断熱性能を確認し、断熱住宅の需要が高いことを知らせよう。  （参加者から出た主なアイデア）	
●必要な社会的しくみ ・借手が住宅を選択するときの指針となるように、賃貸・中古住宅の断熱の程度がわかるようにする。	
●関連する市、県の施策 （県）長野県住生活基本計画 （市）松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金（松本市住まいのゼロカーボン推進補助金）	

アクションプラン No.12	公共交通をもっと利用すれば、もっと充実させられる！
●概要 松本市で最大の温室効果ガス排出源は運輸部門で、自動車がそのほとんどを占めます。第5回の情報提供で、一度に多くの人を輸送できる公共交通の役割の大きさを学びました。長野県は2030年までに公共交通の利用者を年間1億人に増やす目標をもっていますが、県民一人あたりで考えると月2回程度の利用増で達成可能です。少しの変化が、大きな成果を生むことができます。	
●市民アクション 12-1. 公共交通とゼロカーボンがつながっていることを知ろう。 12-2. 公共交通の利用回数を月2回以上増やそう。 12-3. さらに利用を増やして公共交通機関の自動車のEV化を求めよう。 (関連して参加者から出た主なアイディア)	
●必要な社会的しくみ ・ 交通政策とゼロカーボンとの結びつきをより明確に発信する。 ・ 交通弱者のアクセスなど公共交通利用に関わる課題解決にいっそう努める。 ・ 公共交通機関の車両のゼロカーボンを進める。	
●関連する市、県の施策 (県) 長野県地域公共交通計画 (市) 松本市総合交通戦略／松本地域公共交通計画／パークアンドライド推進事業／松本駅周辺交通ターミナル機能強化事業／交通決済キャッシュレス化事業／上高地線大規模改修事業／地域主導型公共交通事業／路線バス公設民営事業／バス待ち環境整備事業／市営バス事業／A I デマンドバス事業／路線バス等運賃政策事業（福祉100円バス助成事業）／地域ボランティア輸送等支援事業／路線バス運賃政策事業／バス車両更新事業／大系線プロモーション事業／交通空白地有償運送補助事業	

アクションプラン No.13	電気自動車（EV・PHEV）でゼロカーボン・ドライブ♪
●概要 国際エネルギー機関(IEA)の評価によれば、ゼロカーボンを実現する上で再エネと電気自動車(EV)の効果が特に大きいとされています。長野県は 2030 年までに EV の普及率を 10%まで引き上げる目標を立てています。自動車を必要とする人が多く、再エネ資源の豊富な松本では、EV・PHEV と再エネ電力を組みあわせて「ゼロカーボン・ドライブ」が実現可能です。	
●市民アクション 13-1. 市の EV カーシェア事業などを通じて EV を体験してみよう。 13-2. 自動車を買い換える時には EV・PHEV を選択しよう。 13-3. 充電環境がまだ整わない人はハイブリッド車などエコカーを選択しよう。 （参加者から出た主なアイディア）	
●必要な社会的しくみ ・EV のメリットから普及、インフラ整備に至る市の EV 政策を整理・発信する。 ・EV 導入支援制度をわかりやすく示す。 ・観光地としての魅力向上とあわせた充電インフラの整備戦略をつくる。	
●関連する市、県の施策 （県）電気自動車用充電インフラ整備促進事業 （市）EV カーシェア導入事業／松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金（松本市住まいのゼロカーボン推進補助金）	

アクションプラン No.14	徒歩や自転車で移動を楽しもう♪
●概要 お城からアルプスまで、四季折々の景色は松本の大きな魅力です。気候市民会議参加者からは、徒歩や自転車で移動する中でこそ、こうした魅力を深く実感できるという声が多く聞かれました。移動手段を車から徒歩、自転車へ切り替えることは、我慢を強いることと見られがちですが、松本の魅力を再発見する機会にしてみませんか。	
●市民アクション 14-1. 徒歩移動の魅力や効用を発見し、街歩きを楽しもう。 14-2. 個人所有の自転車だけでなくシェアサイクルを活用しよう。 14-3. サイクルツーリズムなど自転車を活用した街の魅力を広めよう。 ※サイクルツーリズム：自転車を活用した観光のこと  （参加者から出た主なアイデア）	
●必要な社会的しくみ ・アプリ（MEGURY など）やスタンプラリーなどの街歩きを促す仕掛け、イベントを充実させる。 ・歩道や自転車レーンなどの環境整備をいっそう推進する。 ・電動自転車を市民が入手しやすくするための支援強化を検討する。 ・シェアサイクルをいっそう使いやすくする。	
●関連する市、県の施策 （市）松本市総合交通戦略／松本市自転車活用推進計画／交通まちづくりにぎわい創出事業／城駅森交通まちづくり事業／自転車通行空間整備事業／Japan Alps Cycling Road 関連整備事業／子ども乗せ電動アシスト付き自転車購入補助事業／シェアサイクル事業／松本駅前広場サイクルステーションの整備／観光サイクリングルートの整備／防災安全交付金	

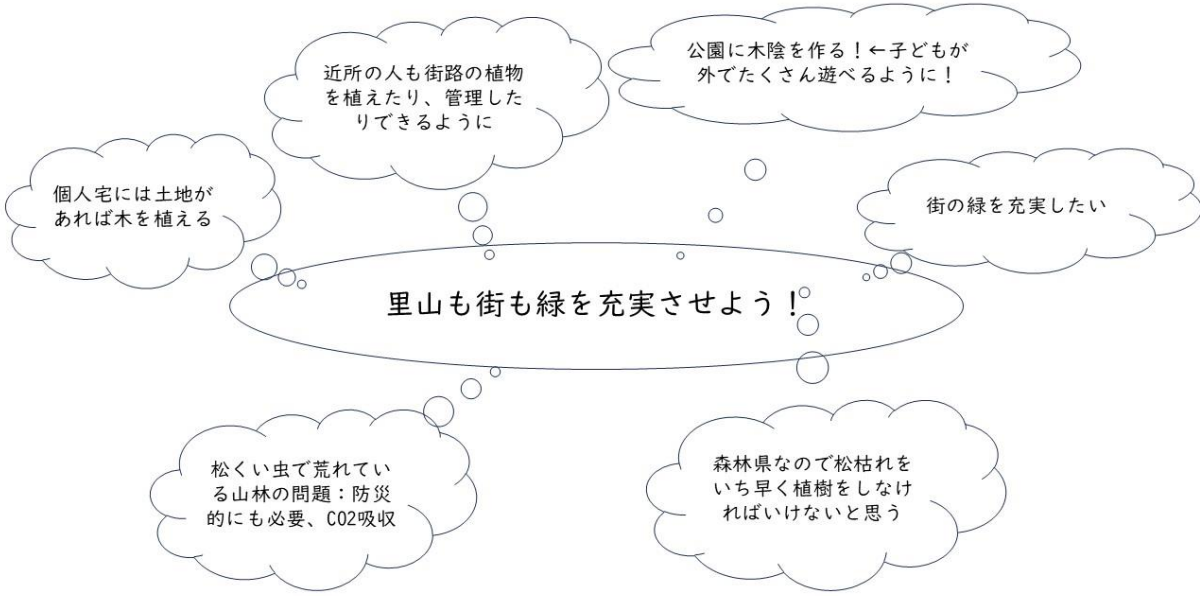
アクションプラン No.15	ゼロカーボンにつながるまちをつくろう！
●概要 移動は私たちの生活に欠かせないものです。脱炭素型の移動を可能にするためには、市民一人ひとりの工夫だけでなく、まちのあり方そのものを変化させる必要があります。松本市は、まちづくりの大原則にゼロカーボンの視点をすでに取り入れています（松本市第11次基本計画）。ゼロカーボンにつながるまちづくりを、多くの市民が参加することによって実現していきませんか。	
●市民アクション 15-1. 移動に伴うCO₂排出量を把握しよう。 15-2. パーク＆ライドなど自動車に頼らない移動手段を考えて実行しよう。 15-3. エコ通勤・通学にできるところから取り組もう。 (参加者から出た主なアイデア)	
●必要な社会的しくみ ・移動の手段別CO₂排出量を容易に把握できるツールを提供する。 ・必要な自動車が効果的に機能するまちづくりをめざす。 ・企業のエコ通勤化の取り組みを支援する。 ・歩行者天国を増やす。	
●関連する市、県の施策 (県) 長野県地域公共交通計画 (市) 松本市総合交通戦略／松本市自転車活用推進計画／パークアンドライド推進事業／渋滞対策事業／シェアサイクル事業／自転車通行空間整備事業／自転車駐車場整備事業／交通安全施設の整備／「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクト（国交省）の周知／環境に配慮した商業エリアの形成（商業ビジョン推進事業）／三の丸エリアビジョン	

アクションプラン No.16	気候変動への「適応」について、一緒に学ぼう♪
●概要 2050 年までに世界がゼロカーボンを達成した場合でも、今世紀末までに地球の平均気温はもう少し上昇していくことが予測されています。松本に暮らす私たちにも、さまざまな生活への影響が見込まれます。熱中症や感染症対策、農業への影響、災害の激化など生活に生じる可能性のある変化に対策をとることを「適応」と呼びます。まずは対策を学ぶことからスタートしましょう。	
●市民アクション 16-1 気候変動によって松本に生じている変化について知ろう。 16-2 気候変動対策を地域課題解決と合わせて考えてみよう。 16-3 気候変動の体験を地域で共有しよう。 誰ひとりとして経験のない気候変動対策を地域社会の再構築としての施策と共に結び付けて欲しい 気候変動や現状を知る努力をしよう。アンテナを高くする！ 「知る」機会 気候市民会議のミニ版 「知る」機会 & 地域再生 私たちのようなすでに学びを得た人間が家族や友人に伝える。 正しい情報を得る = 次の世代への選択肢を残す 耕作放棄地や空き家の活用をして温暖化を防ぐことを考えて欲しい 親子で学べる場所をつくる（食、防災、農業など） まちづくり活動の中に毎回データを示しながら意識・知識をつけてもらう 省エネ勉強会だけでは人は来ない！ 人を集めるため = お得感 （参加者から出た主なアイデア）	
●必要な社会的しくみ ・気候変動に関して学ぶ機会を充実させる。 ・気候変動と地域課題を考える場をつくる。	
●関連する市、県の施策 （県）信州気候変動適応センター／長野県気候変動適応計画 （市）熱中症特別警戒アラート／松本市クーリングシェルター／まつもとゼロカーボン実現計画	
●参考情報 ・信州気候変動適応センター https://lccac-shinshu.org/	

アクションプラン No.17	農ある松本の暮らしを持続させよう！
●概要 松本市は長野県で最も農業産出額の大きな自治体で、米や蕎麦、野菜、果物、畜産など多岐にわたる農業が営まれています。気候変動が激しくなると、生育環境の変化でこれまでどおり農業を営めなくなることが懸念されており、身近で新鮮な農作物を手に入れることができる松本の暮らしの根幹が揺らぐことが心配されます。私たち一人ひとりの取り組みで地域の農業を支えていきましょう。	
●市民アクション 17-1. 農業・農産物に関心を持つ。 17-2. 地元で作ったものを食べよう。 17-3. 規格外農産物を積極的に消費しよう。 (関連して参加者から出た主なアイデア)	
●必要な社会的しくみ ・ 地元産農産物の利用をいっそう支援する。 ・ 作物を育てている農地にソーラーパネルを設置して発電する取り組み（ソーラーシェアリング）を支援する。	
●関連する市、県の施策 (県) 長野県みどりの食料システム戦略推進計画／しあわせバイ信州運動／長野県版エシカル消費 (市) 今井農産物直売施設(今井恵みの里)／波田農産物加工販売施設	

アクションプラン No.18	私たちの日々の消費がゼロカーボンにつながる！
●概要 あらゆるものの生産や流通、消費がCO₂の排出を伴います。ということは、私たちの日々の買い物やサービスの利用が気候変動に関わり、その転換が求められているのです。再エネ比率の高い電力（No.3）だけでなく、地場の商品や省エネ型製品の購入、宅配サービスでは再配達をしないで済むようにするなど、ゼロカーボンにつながる消費行動を実践してみませんか。	
●市民アクション 18-1. ものを買うときに地産地消を意識しよう。 18-2. 運送輸送にかかるCO₂を知り、物流の環境負荷を小さくしよう。 18-3. 家電製品を買い換える時には省エネ型の製品を選択しよう。 (参加者から出た主なアイディア)	
●必要な社会的しくみ ・ゼロカーボンにつながる消費行動を拡充するために広報、情報発信を行う。	
●関連する市、県の施策 (県) しあわせバイ信州運動／長野県版エシカル消費／再配達削減キャンペーン／信州省エネ家電購入応援キャンペーン (市) think local, buy local 運動の推進	

アクションプラン No.19	ごみの削減、資源循環にippそう取り組もう！
●概要 ごみ問題と気候変動は関わりがなさそうですが、松本市の温室効果ガス排出量のうち約2.6%は廃棄物の焼却に伴って発生しています（年間約4.4万～5万トン-CO2）。ごみの減量や分別は気候変動対策としても効果的に作用します。松本市は30・10（さんまる いちまる）運動の発祥の地で食品ロス削減の先進地としても知られています。大量生産・消費・廃棄社会からの転換を進めていきましょう。	
●市民アクション 19-1 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を徹底しよう。 19-2 食品ロスについて学び、実践しよう。 松本市民のできていること →ゴミの分別が細かいがみんできています ゴミの分別が細かくできる！→資源の再利用（強み） 広報で各地域のリサイクル、リユースの情報を毎月出す 生ゴミの減量 リサイクル・リユースを正しく行いたい 65年前はおでん、うなぎ、豆腐、惣菜計り売りは容器を持って行ってたよ マイバッグを持って買い物へ行く （参加者から出た主なアイディア）	
●必要な社会的しくみ ・ごみ減量化の取り組みをゼロカーボンの視点からippそう充実させる。 ・資源循環の見える化を進める。	
●関連する市、県の施策 （県）長野県廃棄物処理計画／信州プラスチックスマート運動／食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～ （市）松本市一般廃棄物処理計画／松本市食品ロス削減推進計画／ワンウェイプラスチック削減ミッション／松本キッズ・リユースひろば事業／不用食器リサイクル事業／食品ロス削減推進事業／小学校環境教育事業／園児を対象とした参加型環境教育事業／プラスチック資源等の分別収集／有価資源物リサイクル事業助成金・資源物集団回収助成金／環境に配慮した商業エリアの形成（商業ビジョン推進事業）	

アクションプラン No.20	里山も街も緑を充実させよう！
●概要 光合成によって CO2 を吸収する森林の役割は、ゼロカーボンに欠かすことができません。松本市内の森林には約 15 万トン-CO2 の吸収量があるとされ、市は森林整備によって吸収量を維持する計画です。さらに都市部では温度上昇の抑制や貴重な木陰を提供、山では災害防止に効果を発揮します。安全・安心の基盤（グリーンインフラ）として緑をいっそう充実させる必要があります。	
●市民アクション 20-1. 森林吸収源としての役割が果たせるよう森林保全に地域で取り組もう。 20-2. 身近な生活環境に緑を充実させよう。  （関連して参加者から出た主なアイディア）	
●必要な社会的しくみ ・ 森林保全の取り組みをゼロカーボンの視点からいっそう充実させる。 ・ 街中にグリーンインフラを整備する。	
●関連する市、県の施策 （県）信州まちなかグリーンインフラ推進計画 （市）松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金（松本市住まいのゼロカーボン推進補助金）／松本まちなかグリーンインフラアクションプラン／生物多様性地域戦略／松本市森林造成事業補助金／記念樹交付事業	

7. アクションプラン：参加者による推進意向投票の結果

第6回会議終了後の2月21日から3月4日にかけて、松本市民の縮図となるよう選ばれた参加者の推進意向を客観的に把握し、今後の政策推進に活かすため、50の市民アクションに関する推進意向投票を実施しました。（投票者数：27名）

◆投票の方法

- ・それぞれの「市民アクション」について、参加者に7段階で評価してもらいました。

（例）

積極的に推進すべきと思う				推進すべきと思わない			
1	2	3	4	5	6	7	

番号	市民アクション	推進意向 平均値
No.1 気候変動対策の入口へ一歩踏み出そう！		
1-1.	気候変動を身近に感じる機会に参加しよう。	1.44
1-2.	アプリなどを使って、自身や家庭のCO2排出量を「見える化」してみよう。	1.78
1-3.	市民が気候変動対策を進めるための相談窓口を活用するなどして、自分ができる気候変動対策を把握しよう。	1.93
No.2 自宅の電力を太陽光発電で自給できるって、すごい！		
2-1.	信州屋根ソーラーポテンシャルマップで自宅の発電可能性を確認しよう。	1.70
2-2.	自宅の屋根等に太陽光発電を検討・導入しよう。	2.19
2-3.	ライフスタイルに合わせて電気自動車（EV）や蓄電池を活用しよう。	2.56
No.3 再エネ比率の高い電力を選べること、知ってる？		
3-1.	発電メニューで電力会社を比べて選べることを知ろう。	1.74
3-2.	再エネ比率の高い電力を選択しよう。	1.70
No.4 電力も地産地消ができるといいな♪		
4-1.	地域に必要な再エネの量を知り、地域の特性に合った導入を後押ししよう。	2.00
4-2.	災害時の自立など地域の課題解決につながる取り組みを支持し、市民としての関わり方を見つけよう。	1.96
4-3.	地域主導の再エネ事業を応援しよう。	1.89
No.5 熱も再エネで賄えたら、心も身体もあたたまる♪		
5-1.	太陽熱温水器やおひさまエコキュートを検討・導入しよう。	1.96
5-2.	薪やペレットなど木質バイオマスストーブを検討・導入しよう。	3.30
No.6 再エネで暮らしを豊かにする方法、知っていませんか？		
6-1.	再エネに関して総合的な情報を扱うウェブサイトや広報紙にアクセスしよう。	1.74
6-2.	住まい方やライフスタイルに合わせた再エネの活用方法や経済的メリットがあることを知ろう。	1.56

No.7 自宅のエネルギー使用量、考えてみたことある？		
7-1.	住宅の室温や電気・燃料の使用量を把握し、できることを家庭や所属するコミュニティで共有しよう。	1.56
7-2.	住宅のエネルギー効率化（省エネ）について専門家に相談してみよう。	2.26
No.8 断熱が効果的って、もっと広げたい♪		
8-1.	断熱に関する情報・メリット・方法を共有し、実践する仲間を増やそう。	1.48
8-2.	断熱ワークショップを地元企業と連携したりして企画・実行しよう。	1.85
No.9 ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！ ①ZEH という選択		
9-1.	新築時にはゼロエネ住宅（ZEH）を選択しよう。	1.89
9-2.	リフォーム時にもゼロエネ住宅を検討・選択しよう。	1.59
No.10 ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！ ②既存住宅の断熱化		
10-1.	住宅の断熱改修の可能性を調べよう。	1.56
10-2.	開口部（たとえば窓）などを重点に工夫して断熱しよう。	1.37
No.11 賃貸、中古住宅でもゼロカーボンを実現したい！		
11-1.	賃貸・中古住宅を検討する際に、断熱性能の高い住宅を選択しよう。	1.67
11-2.	賃貸・中古住宅を検討する際に、不動産事業者に物件の断熱性能を確認し、断熱住宅の需要が高いことを知らせよう。	1.59
No.12 公共交通をもっと利用すれば、もっと充実させられる！		
12-1.	公共交通とゼロカーボンがつながっていることを知ろう。	1.59
12-2.	公共交通の利用回数を月2回以上増やそう。	1.96
12-3.	さらに利用を増やして公共交通機関の自動車のEV化を求めよう。	1.96
No.13 電気自動車（EV・PHEV）でゼロカーボン・ドライブ♪		
13-1.	市のEVカーシェア事業などを通じてEVを体験してみよう。	1.96
13-2.	自動車を買換える時にはEV・PHEVを選択しよう。	2.33
13-3.	充電環境がまだ整わない人はハイブリッド車などエコカーを選択しよう。	1.89
No.14 徒歩や自転車で移動を楽しもう♪		
14-1.	徒歩移動の魅力や効用を発見し、街歩きを楽しもう。	1.30
14-2.	個人所有の自転車だけでなくシェアサイクルを活用しよう。	1.44
14-3.	サイクルツーリズムなど自転車を活用した街の魅力を広めよう。	1.52
No.15 ゼロカーボンにつながるまちをつくろう！		
15-1.	移動に伴うCO2排出量を把握しよう。	1.37
15-2.	パーク＆ライドなど自動車に頼らない移動手段を考えて実行しよう。	1.85
15-3.	エコ通勤・通学にできるところから取り組もう。	1.56
No.16 気候変動への「適応」について、一緒に学ぼう♪		
16-1.	気候変動によって松本に生じている変化について知ろう。	1.22
16-2.	気候変動対策を地域課題解決と合わせて考えてみよう。	1.22
16-3.	気候変動の体験を地域で共有しよう。	1.30

No.17 農ある松本の暮らしを持続させよう！		
17-1.	農業・農産物に関心を持とう。	1.33
17-2.	地元で作ったものを食べよう。	1.26
17-3.	規格外農産物を積極的に消費しよう。	1.26
No.18 私たちの日々の消費がゼロカーボンにつながる！		
18-1.	ものを買うときに地産地消を意識しよう。	1.33
18-2.	運送輸送にかかる CO ₂ を知り、物流の環境負荷を小さくしよう。	1.37
18-3.	家電製品を買い換える時には省エネ型の製品を選択しよう。	1.44
No.19 ごみの削減、資源循環にいっそう取り組もう！		
19-1.	3R（リユース、リデュース、リサイクル）を徹底しよう。	1.33
19-2.	食品ロスについて学び、実践しよう。	1.19
No.20 里山も街も緑を充実させよう！		
20-1.	森林吸収源としての役割が果たせるよう森林保全に地域で取り組もう。	1.26
20-2.	身近な生活環境に緑を充実させよう。	1.38
全投票の平均値：		1.68

8. 『わたし、のゼロカーボンアクション

第6回会議の最後に、『わたし、のゼロカーボンアクション』を発表していただきました。

（参加者）

地区のみんなに公共交通に乗り慣れてもらう
・こどもたちと公共交通を使ってでかけてみる！
・1ヵ月に2回以上は公共交通を利用して通勤してみる！
・70歳になったら「福祉100円パス」の申請を促す！
・買い物や公園など行ける範囲での自転車移動を楽しむ。
・自宅のプチリフォーム（断熱など）を楽しむ。
・休日は自動車を使わず、散歩を楽しむ。電車やバスで移動する。
・庭に気を植えて地面の温度を抑える
・通勤に電動自転車をつかってみる
・自分のまわりの人たちと気候変動について話をしてみる。この会議について話してみる
・歩く事を増やす
・食品のロスを無くす
・引き続き学ぶ
・発信する
子どもに自分の言葉で伝えられるように学びつづける

歩いて行ける場所は歩いていく！ もっと電車、もっと自転車 身近な人にも伝えていく。
私の家、私の車、私の生活は何かができるか、何が減らせるか、増やせるか、何を変えられるか、を考え続けていく。
農・食・電気の地産地消を目指します。
まずは家族と認識共有から。半歩進んで振り返る。
これから先につながる住宅を選択するときは、ソーラーパネルのついて ZEH 化された家を選択する！！
学んだ事を人に広める！
月イチ ノーカーデー
共感者を少しずつ増やしたい… 普段の話の中にあたりまえの話題としてこれからも話していきたいな。
「学び」だけで終わらせない！！ 「伝える」「行動する」1人1人のちりつもが大事
・地産地消を取り入れ「ずく」をおしまずゆっくりとゼロカーボン対策する
自宅の屋根ソーラーを検討する
できる事は何かあるかを日常的に意識すること
学び続ける
意識してできる事から行動に移す
・太陽光発電により得た電力から熱エネルギーを取り出し、その熱エネルギーを農業などに活用したい。 ・今回のような市民参加型の会議やイベントの機会に積極的に参加してみたい。
歩く！ ・晴れているとき ・暑くないとき ・片道3km以内のとき
ゼロエミッションで充実した人生を より良い地域を次世代へ ←ゼロエミッション（健康・精神的充実感・経済的メリット）
地球にもお財布にもやさしい選択をする！ ・わからないままにしない。 ・ソーラー ・EV ・断熱 ・情報
・自宅のエネルギー使用量を「見える化」して省エネに努める。 ・電気小売事業者で再生エネルギー比率の高い業者を選ぶ ・次回車を購入する場合はハイブリッド orEV を選ぶようにする。
・市民アクションプランを1つずつ、家族・友人・知人に説明する ・再生可能エネルギーを1つ、予算つけて実施する（ワンストップサービスにも相談してみる） ・緑化、ゴミ減量をつづける

出来るだけ車に頼らず歩く！ 積極的に歩いて松本の魅力を発見したい
自分の出来る事からコツコツやる（移動は自転車や徒歩など）友達や周りの人にもさりげなく進めてみる。
・まず「歩く」 ・「池消」する ・ゼロカーボンについてアンテナを高く持って情報にふれて意識を高め続けたい
・車以外での移動を心がけたい ・身近な人へ学んだことを共有したい
節電を意識する。家族みんなで節電。
運動を通じて、身近でできるゼロカーボンアクションを広める。 目標：車は生涯買わない。
・断熱する 内窓を取り付ける ・畑は地産地消（我家の土地で） ・ゼロカーボンまではいかないが、大切さやこんな事ができる！！そんな事を話していきたい ・自家用車はあまり使わないで、公共交通を使っていく
・電気を使用を少なくする（石油ストーブをあまり使用しない） ・焼却のゴミと生ごみを分けてゼロカーボンを少なくする。①ゴミ出しをする②畑の中に入れて肥料にする ・車で出かけるのは遠い所だけ近くは歩いて行く ・断熱はビニール（プチプチ）をはる。
公共交通機関を月に2回以上利用します。
普段の生活の中で、無駄なエネルギーがないかを見直し、どこが変えられるのか考え、取り組む、特に節電
生活の中で小さな事だと思うが、食材を大切に扱う。（使い切る） ビニール製品など利用しない様にする。（プラスチック） 冷暖房の設定にちゅういする。 今後もゼロカーボンについて、学び続ける。 公共交通バス（100 円で！）をなるべく移動時利用する。
移動は基本的に自転車。荷物の多いときや趣味のゴルフに行くときのみ車を使用する。

(Y-CAM)

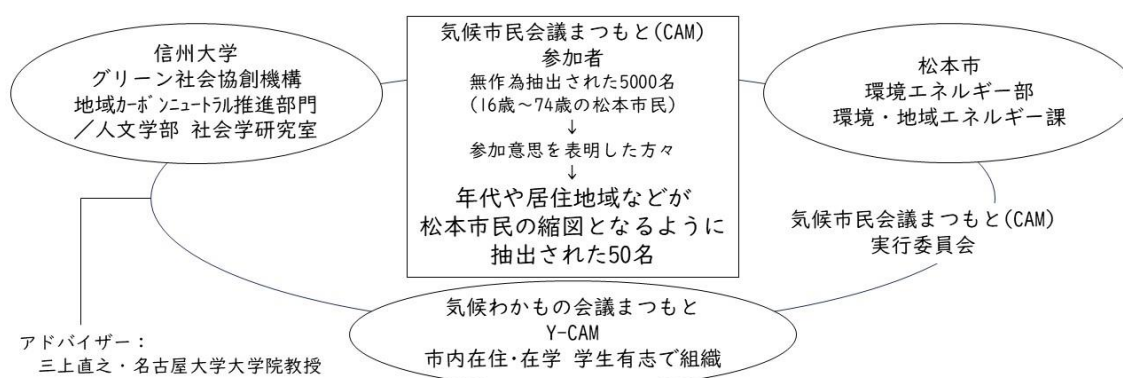
自分が知っているゼロカーボンや暮らしの話を身近な知り合いに雑談する。ソーラーランタンを買う。
気候変動・ゼロカーボンへの学びを続ける！実行する！
自宅のエネルギー使用量を知る。次に引っ越す際、断熱性能も気にする。
ゼロカーボンにつながる消費行動をとる！
①企業選びにゼロカーボンの視点を導入する

②自分の使っている電気を正確に把握する →勤め出したら再エネ比率の高い電力を選ぶ
自分の消費行動を変える
・プラスチック袋を買わない ・冷暖房を控える ・家族や周り、次世代に伝えて輪を広げる
家族に発信し続ける・歩く
バスやシェアサイクルの利用を増やす（優先する）
信州大学内での脱炭素普及啓発を！

（傍聴者）

クリエイティブにあるものを大切に長くつかう暮らしを楽しむ。 ・新しいものを買わない（生産、輸送にかかる CO2 を削減！） ・reuse や repair を楽しむ ・クリエイティブに廃棄物を減らす（廃棄物処分のための CO2 を削減！） あと、もっと歩く！Power Shift 推進
気候市民会議まつもとのことを周りの人に話して聞かせる。 自分の地域でも会議が開かれるようにするにはどうすればいいか考える。
・野菜の栽培（家庭農園） ・植樹（桜） ・地域発電導入に向けた取り組み ・町会活動を通じて、ゼロカーボンアクションの普及
・車に頼らず、近場は自転車もしくは公共交通機関を利用する ・ペットボトルは買わず、マイボトルをもつ ・食品等で期限が切れたら捨てるのではなく ・事前に消費・賞味期限を把握し、購入する（フードバンクに寄付する）
Well-be”よりよく” 学び、伝える、コミュニケーション 楽しく取り組める”しくみ” コミュニティづくり アンバサダー的な役割 行動変容できるきっかけ、ワード ・カードゲームのようなツールづくりの提案 （知る、学ぶ、実践してみる）
・再エネ見える化システムの紹介を普及 ・再エネ由来の電力を積極的に導入（再エネふるさと納税の活用） ・移動は徒歩、自転車で！！

(資料)



- 情報提供者：
気候科学・気候変動対策に関する専門家、気候変動政策に関わる行政機関、産業界、市民団体等を想定
- 協力・連携：
エネットまつもと（自然エネルギーネットまつもと）
松本平ゼロカーボン・コンソーシアム
くらしふと信州（長野県ゼロカーボン社会共創プラットフォーム） など
- 学術的助言：
科研費基盤研究(A)「気候民主主義の日本における可能性と課題に関する研究」（研究代表者・三上直之）

図：気候市民会議まつもと（CAM）の運営体制

気候市民会議まつもと 運営協力者および実行委員会関係者一覧

●情報提供者

江守正多さん、浜田崇さん、平林高広さん、鈴木博史さん、信州大学人文学部社会学研究室、平島安人さん、櫻井啓一郎さん、高木直樹さん、石川智子さん、松本市交通部、藤川まゆみさん、三上直之さん（登壇順）

●グループサポーター

気候わかもの会議まつもと（Y-CAM）、平島安人さん、渡辺勉さん、千明彩さん、石川智子さん、矢野さやかさん

●実行委員会

松本市 鈴木博史、笠原聖矢、北澤美乃里、工藤太陽

信州大学 茅野恒秀、石鍋渚、内田考生、矢原ひかり

気候わかもの会議まつもと（Y-CAM）

石井恵里さん、岩崎日向子さん、大岩咲月さん、佐藤由依子さん、杉本陽太さん、鈴木花音さん、鈴木草さん、瀬川菜々さん、塚越陽子さん、堀内美希さん、松尾典子さん、宮内璃音さん、村松瑠さん、Munkhsuvd Munkhchuluun さん、森山琴乃さん、矢嶋優衣さん、矢花優太さん、山口紗季さん、余合璃子さん、吉村隆博さん、渡邊拓実さん

気候市民会議まつもと 各回の開催記録や資料はコチラ ⇒

